



- ① 40万人目の山手中学校の先生
- ② クリスマスコンサート (TOMO)
- ③ クリスマスコンサート
(キャラ&ルミコ アロハノウ
ポリネシアンダンス)
- ④ クリスマスコンサート
(roy wood)
- ⑤ クリスマスコンサート
(ブルーリーズ)
- ⑥ クリスマスコンサート
(Mukka1・向井由菓子)
- ⑦ ⑧ 初日の出を見る会

四日市港ポートビル展望展示室 「うみてらす14(フォーティーン)」では



マスコット
ポルテクン

平成11年8月に開港100周年を記念して建てられた四日市港ポートビル。

ポートビルの最上階にある展望展示室「うみてらす14」の入場者が、平成20年11月13日に40万人に達しました。

40万人目となったのは、四日市市立山手中学校の1年生で、総合学習・国際理解を選択している19人の皆さん(写真は引率の先生)。四日市港管理組合から40万人目の認定証などの記念品が贈られました。

展望展示室「うみてらす14」では、四季を通じて様々なイベントを開催しています。年末年始には「クリスマスコンサート」と「初日の出を見る会」を開催しました。

12月20日、21日に開催したクリスマスコンサートでは、20日3組、21日2組の計5組の演奏が行われ、来館者は地上90メートル、360度のパノラマの中での演奏に聴き入っていました。

1月1日の初日の出を見る会では、事前募集で当選された約100人が見守る中、水平線から太陽が姿を現すと一斉に歓声が起こり、新年への思いを新たにしました。

展望展示室からは、伊勢湾の青い海や緑豊かな鈴鹿の山々、四日市の街並など、360度見渡すことができ、土曜日は夜9時まで営業していますので、宝石を散りばめたようなコンビナートの美しい夜景をお楽しみいただけます。

見慣れた街の風景を、たまには上から眺めてみるのはいかがですか？

平成21年には開港110周年を迎えます。今後は110周年記念式典など、皆様にご参加いただけるイベント情報などを四日市港ニュースや四日市港管理組合のホームページなどでお知らせしていきます。

この機会にぜひ、四日市港に足を運んでみてください。

四日市港の予算 平成21年度予算

四日市港管理組合では、このほど平成21年度の当初予算を編成しました。

「地域に貢献する、なくてはならない存在としての港湾」をめざし、新年度の事業を推進していきます。

政策1 背後圏の産業を物流面から支え、地域経済の進展に大きく貢献する港づくり

国際競争力のある高水準な機能を備えた港湾基盤を確立するため、引き続き霞ヶ浦地区で国際海上コンテナターミナルや霞4号幹線の整備を進めるほか、航路・泊地の浚渫、物揚場・上屋などの施設の老朽化対策を計画的に進めます。

32億7,745万円

ユーザーニーズに応じた満足度の高い港湾サービスを実現するため、コンテナ貨物輸送から生じる環境負荷(CO₂)の低減を図ろうとする事業者の取り組みの支援などを推進します。

4億5,313万円

政策2 災害に強く、県民や市民の安全・安心を支える港づくり

水際の自然災害から地域を守る港湾としての機能を充実するため、護岸の補強(富田港地区、富洲原港地区)などを行います。

5億7,533万円

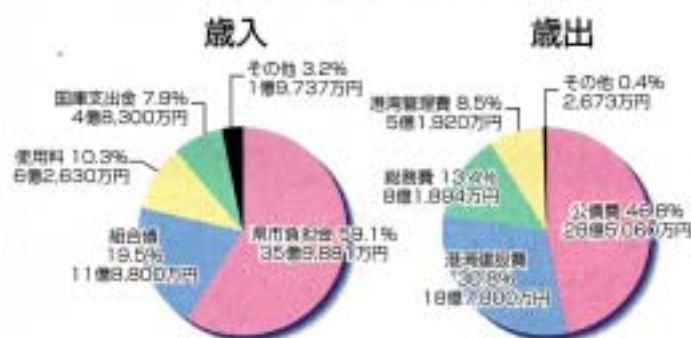
政策3 多くの県民や市民が訪れ、身近に感じられる港づくり

魅力とふれあいのある港づくりを推進するため、緑地の管理、イベントの開催やポートビル展望展示室の運営などを行うほか、港内の環境保全のための調査を行います。

1億3,423万円

一般会計 60億9,348万円

特別会計 40億5,609万円



※国庫支出のため、合計にあわない場合があります。

一般会計

港の一般的な運営経費や航路、泊地、岸壁、防波堤、道路などの公共事業の経費で、主に三重県および四日市市からの負担金、組合債、国からの支出金や使用料によって賄われています。

特別会計

利用者が特定されるクレーン、上屋、荷さばき地の維持・整備やひき船、埋め立てなどの事業にかかる経費で、主に使用料や組合債などによって賄われており、一般会計とは別に経理する会計です。

四日市港でテロ対策合同訓練が実施されました

3月4日、四日市港霞ヶ浦地区で、入港船にテロリストが潜伏していたとの想定で、「四日市港テロ対策合同訓練」が実施されました。

この訓練は、海上保安部や警察など26機関・団体等で構成される四日市港保安委員会(委員長:四日市港管理組合副管理者)が、迅速かつ的確な情報共有および関係機関における連携の確認等を行い、テロ行為や国際犯罪等に対して適切な対応ができるよう、毎年実施しているものです。

当日は、情報伝達訓練のほかに、テロリスト制圧、小型不審船追跡、爆発物処理などの実働訓練も行われました。人員約110人、船艇10隻、車両14台、ヘリコプター1機が投入され、緊張感のある訓練となりました。



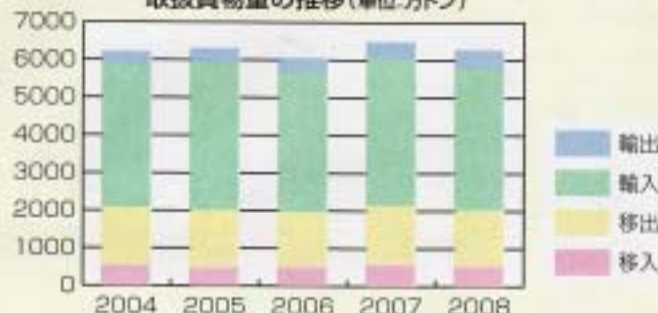
四日市港の港勢・2008年速報値

入港船舶・海上出入貨物

四日市港の2008年の入港船舶数は22,554隻(前年比91.5%)で、うち四日市港と海外を結ぶ外航船は1,827隻(同98.9%)、四日市港と国内の港を結ぶ内航船は20,727隻(同91.0%)でした。外航船のうちコンテナ船は780隻(同94.0%)となりました。

海上出入貨物は、外国貿易4,258万9千トン(同97.8%)、内国貿易2,027万6千トン(同94.8%)となりました。

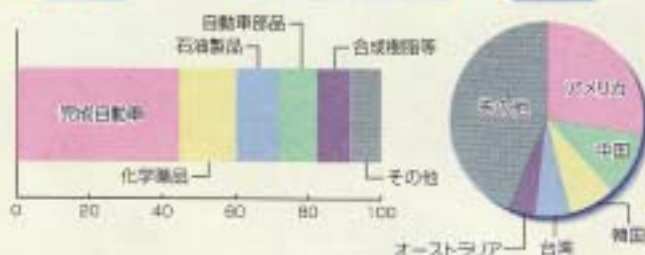
取扱貨物量の推移(単位:万トン)



品種別

輸出 5,029千トン

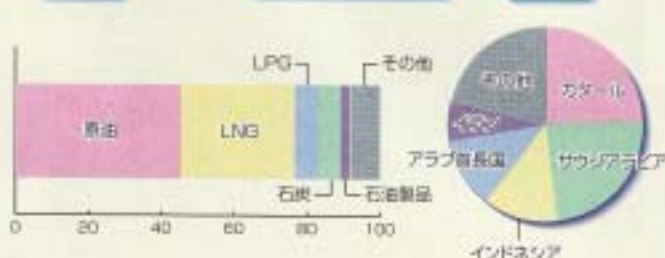
国別



品種別

輸入 37,580千トン

国別



外貿コンテナ取扱個数、10年連続で過去最高を記録

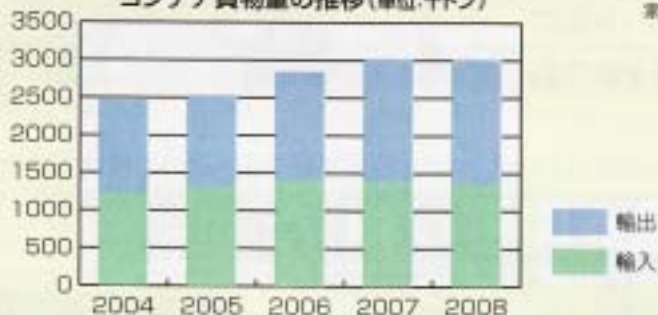
四日市港の外貿コンテナ貨物の2008年の取扱量は301万6千トン(前年比99.6%)で内訳は輸出が167万1千トン(同101.6%)、輸入が134万5千トン(同97.3%)となりました。

また、外貿コンテナ取扱個数は166,492TEUとなり、10年連続で過去最高を更新しました。

★TEUとは、20フィートコンテナに換算した場合の取扱個数を表す単位。

[Twenty-foot Equivalent Units]の略。

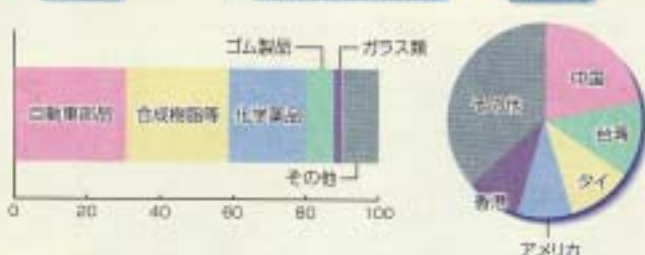
コンテナ貨物量の推移(単位:千トン)



品種別

輸出 1,671千トン

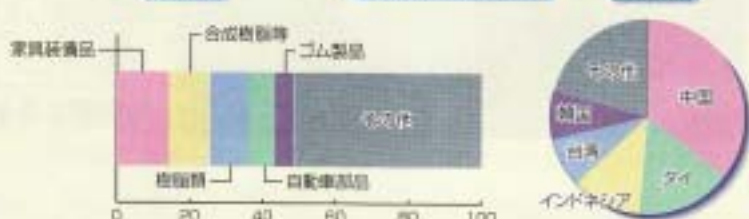
国別



品種別

輸入 1,344千トン

国別



★(注)国名は「港湾統計に用いるコード表」の分類による。「合成樹脂等」は「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」のこと。速報値のため、今後数値に変更が生じる場合があります。

各地で四日市港セミナー・説明会を開催

四日市港利用促進協議会の主催による「四日市港セミナー」が大阪市内(1月27日)と東京都内(2月4日)で開催されました。

四日市港に対する理解を深めてもらい、利用を促進するために開催したもので、四日市港の現状や取り組みについてのプレゼンテーションを行った後、大阪ではNTN株式会社 物流部長の松岡恵三氏、東京では社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 吉本隆一氏がそれぞれ講演を行いました。

このほか、昨年2月の新名神高速道路の開通によりアクセスが飛躍的に向上した滋賀県草津市内でも四日市港説明会を開催するなど、四日市港の利用拡大に向けて、継続的にポートセールスを展開しています。



協会のあいさつをする四日市港利用促進協議会名誉会長の岡本孝行四日市市長

日本最大の客船「飛鳥II」が入港しました

日本最大の客船「飛鳥II」が昨年11月21日、四日市港に入港しました。

今回は、横浜発着2泊3日の旅。「飛鳥II」の入港は1月に続き2回目になります。



歓迎式では、井上四日市市長(当時)のあいさつや花束贈呈などが行われました。下船した乗船客の多くは、四日市港から観光バスに分乗して、伊勢神宮をはじめとした県内の観光へと出発し、その間に事前応募で当選された約200人を対象に船内見学会が開催されました。

全長241メートルの船体が横付けされた岸壁には、カメラを持った見物客も多く訪れ、



地場産品が販売されるなど、終日にぎわいました。

「飛鳥II」は午後4時30分、関係者の見送る中、横浜港に向けて出港しました。

「四日市みなと講座」を開講しました

重要文化財「潮吹き防波堤」見学



四日市港のあゆみ(歴史)や港の仕組み、産業や物流における役割、港の環境など、港のことを深く知っていただくことによって港の理解者を増やし、より多くの方に港に親んでもらうために、昨年10月から2月まで計8回実施しました。なお、平成21年度にも開講する予定です。



工場視察風景

アマモ苗の移植会を開催しました

四日市港管理組合では、三重県と連携し、かつて伊勢湾に多く存在したアマモを再生する取り組みを行っています。

昨年11月に開催した「アマモの苗づくり講習会」において、種から育てたアマモの苗を2月28日に四日市ドーム前水路(米洗川河口)に市民の皆さんと一緒に移植しました。また、生き物観察会をあわせて実施するなど、伊勢湾再生の取り組みを身近に感じていただけました。



アマモ移植の様子

回覧欄

★みなさんからの港に関する面白い写真や情報をお待ちしています。